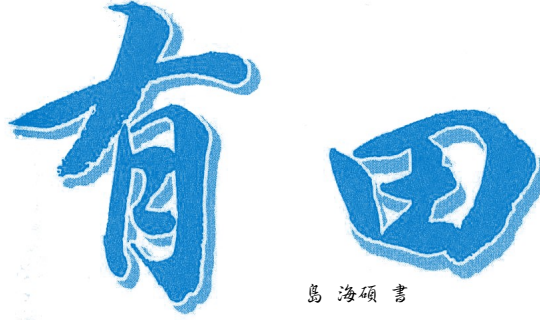


No. 2932

2019-2020年度

会 長 橋本 拓也  
幹 事 中元耕一郎  
R広報委員長 脇村 重徳



島海碩書

第2640地区  
例会日 毎週木曜日 12:30  
例会場 紀州有田商工会議所6F  
〒649-0304  
有田市箕島33-1  
紀州有田商工会議所2F  
有田ロータリークラブ  
Tel (0737) 82-3128  
Fax (0737) 82-1020  
創 立 昭和34年6月15日  
ホームページ <http://www.aridarc.jp>  
e-mail [office@aridarc.jp](mailto:office@aridarc.jp)

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



本日のプログラム

令和元年12月7日 第2933回

- ・クリスマス例会・外部卓話：山本康久氏（那智勝浦町立温泉病院院長）「心に寄り添う医療」
- ・ソング：「君が代」「奉仕の理想」

前回の報告（第2932回例会）

開催日 令和元年11月28日(木)

点 鐘 (橋本会長)

ニコニコ箱の報告 (丸山副SAA)

橋本君：大塚さん、本日の卓話よろしくお願ひします。  
中元君：大塚美晴君、本日の卓話よろしくお願ひします。  
石垣(洋)君：大塚さん、卓話楽しみにしています。  
上野山(捷)君：大塚美晴様、卓話楽しみにしています。  
児島君：大塚さん、卓話楽しみです。  
脇村君：大塚さん、本日の卓話楽しみです。よろしくお願ひします。  
中村君：大塚さん、卓話楽しみにしていました。よろしくお願ひします。  
宮井君：大塚君、本日の卓話ご苦労さまです。勉強させていただきます。  
岩本君：大塚さん、本日は卓話ご苦労様です。  
松村君：大塚様、念のため相続税勉強させていただきます。  
上野山(栄)君：大塚さん、お話楽しみです。ゆるーく話してくれて良いです。初卓話よろしくお願ひします。  
橋爪(誠)君：大塚さん、卓話デビューおめでとうございませす。はりきってどうぞ！！  
嶋田(ひ)君：大塚様、本日の卓話宜しくお願ひします。楽しみです。  
川口君：大塚さん、本日の卓話宜しくお願ひ致します。勉強させていただきます。  
石垣(泰)君：大塚美晴君、本日の卓話頑張ってください！

2019-2020年度クラブ方針

明日に繋がる活動

Activities for a brighter future



次回のお知らせ

令和元年12月12日 第2934回

- ・年次総会
- ・ソング：「それでこそロータリー」

木本君：大塚美晴さん、本日の卓話宜しくお願ひ致します。

菅原君：大塚さん、卓話デビュー頑張ってください。

岩橋君：大塚さん、卓話楽しみにしています。

丸山君：大塚さん、本日の卓話よろしくお願ひします。相続税、難しそうですね。

SAAデビュー  
丸山君



出席報告 (石垣(泰)例会運営委員長)

本日の会員数31名  
(出席規定免除会員8名)  
出席会員数25名  
(出席規定免除会員7名)

会長の時間 (橋本会長)

「太平洋について」

今日11月28日は、太平洋の日です。皆さんご存知でしょうか？

今から約500年前の1520(永正17)年のこの日、ポルトガルの航海者マゼランが、後に「マゼラン海峡」と命名される南米大陸南端の海峡を通過して太平洋に出ました。天候が良く平和な日が続いたため、この海を Pacific Ocean(平和な・穏やかな大洋=「太平洋」と名付けました。



幹事報告 (中元幹事)

1. 国際ロータリー日本事務局 | クラブ・地区支援室からの連絡事項が届く

ロータリークラブ定款 第7条 会合  
第2節 - 年次総会。

(a) 役員を選挙するため、**現年度の収入と支出を含む中間報告および前年度の財務報告を公表するための年次総会**は、細則の定めるところに従い、毎年 12 月 31 日までに開催されるものとする。

\*黒太字の下線部分が追加事項。

当クラブにおいて、今年度の年次総会(12/12)で現年度の上期決算を行うが、前年度(2018-19年度)の財務報告は既に完了していることより、前年度の決算については発表しない。(理事会で承認済み)



2. 例会日時と場所の変更について

次週12月5日(木)の例会はございません。12月7日(土)午後5時よりゴールデンリバーでのクリスマス例会と変更させていただきます。なお、クリスマス例会は家族例会ではございません。誠に恐縮ですが、タクシーもしくは自家用車に乗り合せて各自ご出席のほどよろしく願いいたします。

3. 例会変更は後方に掲示

ローターアクト設立検討委員会

「有田ローターアクトクラブ(RAC)

設立検討委員会について」

設立検討委員会 委員長 上野山栄作

先の11月理事会にて、ローターアクトクラブの設立を検討する委員会を設置し、その委員長を拝命しました。クラブ内でも数回の議論を交わしているこのRACの設立につきまして、慎重に進めて参りたいと考えているところです。委員会には会長やエレクト、会長ノミニー予定者、青少年奉仕



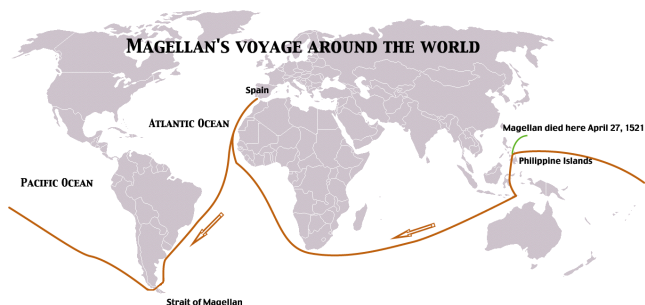
委員会、実際の運営も考え若手の会員を中心に委員を特定し、委員会を開催して参ります。RACはRI推奨のプログラムであり、この委員会は基本的に設立に向け、議論を行いたいと考えています。もし、反対の意見をお持ちの方は、どうか私の方に意見を頂けますようお願いいたします。慎重に検討していければと思います。



アントニオ・ピガフェッタの記録によると。

『1520年11月28日水曜日にわれわれはあの海峡から抜け出て、太平洋のまっただ中に突入した。3ヶ月と20日のあいだ新鮮な食べ物は何ひとつ口にできなかった。ビスコット(乾パン)を食べていたが、これはビスコットというよりむしろ粉クズで、虫がうじゃうじゃ沸いており良いところはみな虫に食い荒されていた。そして、ネズミの小便の臭いがむっと鼻につくようなしろものだった。日数がたちすぎて腐敗し黄色くなった水を飲んだ。また、主帆柱の帆桁に張り付けてあった牛の皮さえも食べた。それからまたわれわれはオガクズもしばしば食べた。ネズミは半デューカート(当時の金貨)の値段がつけられ、しかもなかなか手に入らなかった。』

マゼランは1519年スペイン船5隻の艦隊を率いてスペイン・セビリアを出発し、南アメリカ大陸南端のマゼラン海峡を発見して太平洋に到達し、マゼランは途中1521年フィリピンで戦死したが、残された艦隊が1522年に史上初めての世界一周を達成した。マゼラン自身は世界一周を成し遂げてはいないものの、人類初の世界一周航海(周航)を達成した艦隊は「マゼランの艦隊」として後世に名を残している。



委員会報告

- \* 指名委員会(上野山(栄)委員長)  
本日例会終了後、経済クラブにて第2回の指名委員会を開催致しますので、会長経験者の皆様にはご出席お願いいたします。
- \* 米山記念奨学会委員会(嶋田(ひ)委員長)  
中村君より特別寄付をいただきました。
- \* R財団委員会(松村委員長)  
石垣洋介君よりポリオプラス寄付、中村君より特別寄付をいただきました。
- \* 情報・研修委員会(中村委員長)  
本日指名委員会終了後に情報・研修委員会を開催します。会長および委員の皆さんの御出席をお願いします。

卓話

「相続税について」



会員  
大塚 美晴 君

ご縁がありまして今年7月に有田ロータリークラブに入会いたしました大塚です。入会してまだ間もないため、みなさまのお顔とお名前を一致させるのがやっとというところですが、今回こうしてお話しをする機会をいただきましたので、改めて自己紹介をさせてい頂きたいと思えます。そして後半では相続税の基礎について少しお話ししたいと思います。

箕島高校が高校野球で春夏連覇を達成した年に、私は御坊市の日高病院で生まれました。両親はともに和歌山県の出身ですが父の仕事の関係で、その後はずっと大阪で育ちました。智辯学園和歌山中学高等学校を卒業し、京都、大阪、神戸、マレーシアを経て、2017年に税理士登録、2018年より有田市箕島で税理士事務所を開業しております。

税理士の仕事は、事務所としての仕事と税理士個人としての仕事があります。事務所としては自計化支援・各種税務申告書作成・相談・調査立会・経営計画の策定支援・経営助言・相続税額のシミュレーション等の業務を行っております。税理士個人としては、税務署から税理会への委託事業である記帳指導や、小中学生を対象とした租税教室、確定申告時期の地区相談会、税理士会の支部運営などに携わっております。

ここからは相続税の基礎についてお話しします。2015年に相続税の基礎控除額が大幅に縮小され、今まで富裕層の問題というイメージの強かった相続税がごく普通の一般家庭にも影響しています。相続税は、相続財産の総額(正味の遺産額)が「基礎控除額」を超える場合に、

その超える金額に対して課税されます。相続が発生したら、まず遺言書の有無の確認、相続人の確定、相続財産の洗い出しを行い、必要であれば相続放棄の手続を行います。身近な方が亡くなられた後、残された方は様々な手続きを行わなければなりません。期限が定められている手続きもありますので、早めの対策をおすすめします。

閉会・点鐘

(橋本会長)

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

